

平成 28 年 12 月 27 日  
話 題 事 項  
平成 28 年 12 月 14 日  
資 料 提 供 済



## ☆初開催☆和歌山県の人と自然をつなぐシンポジウム

和歌山県では平成28年3月に生物多様性和歌山戦略を策定しました。その戦略を進める中で、自然と人との良い関係を築くためにはどのようにすれば良いかを考えていただく機会として、本シンポジウムを開催します。

シンポジウムは平成28年度から平成32年度にかけて5回開催します。  
今年度のテーマは「自然と人とのつながり」です。

### シンポジウムの内容

日時 平成29年1月9日(月) 13:00~16:20

場所 和歌山県民文化会館小ホール(和歌山市小松原通1-1)

- 内容
- ・テーマ講演～生物多様性のいまを語る～  
岩槻邦男氏(東京大学名誉教授)
  - ・教えて!岩槻博士  
岩槻邦男氏、県内中学・高校生
  - ・孟子不動谷生物多様性活性化プロジェクトについての報告  
和歌山県立向陽中学校理科部
  - ・トークセッション～人と自然のつながり～  
大浦由美氏(和歌山大学観光学部教授)  
有本智氏((特非)自然回復を試みる会・ピオトップ孟子理事)  
内山りゆう氏(ネイチャー・フォトグラファー)
  - ・今後に向けて  
武内和彦氏(東京大学国際高等研究所サステイナビリティ学連携研究機構長・教授)

参加方法 必要事項を記載の上、  
申込フォーム(<http://www.sizen.wbs.co.jp/>)  
FAX(073-428-0960)  
メール([sizen@wbs.co.jp](mailto:sizen@wbs.co.jp))にてお申し込み下さい。

参加定員 300名(要事前申込み)  
主催 和歌山県

### ☆岩槻先生への質問を募集☆

プログラムの「教えて!岩槻博士」で、人と自然のつながりや自然のこと、植物のことなどについて、岩槻先生への質問を募集します。対象は、県内の中学生・高校生です。奮ってご応募下さい。



開催日時／平成**29**年**1**月**9**日(月) 13:00~16:20

開催場所／和歌山県民文化会館 小ホール (和歌山市小松原通り一丁目1番地)

このシンポジウムは、自然と私達のより良い関係を考えるシンポジウム  
平成32年まで5回シリーズで開催  
今年は「自然と人とのつながり」について考えます。

プ  
ロ  
グ  
ラ  
ム

- オープニング
- 主催者挨拶
- テーマ講演:生物多様性のいまを語る 【講師】岩槻 邦男氏(東京大学名誉教授)
- 教えて! 岩槻博士 【参加者】岩槻 邦男氏・県内中学・高校生
- 孟子不動谷生物多様性活性化プロジェクトについての報告  
【発表者】和歌山県立向陽中学校 理科部
- トークセッション ~自然と人とのつながり~  
【参加者】大浦 由美氏(和歌山大学 観光学部 教授) 有本 智氏((特非)自然回復を試みる会・ビオトープ孟子 理事)  
内山 りゆう氏(ネイチャー・フォトグラファー)
- 今後に向けて 武内 和彦氏(東京大学 国際高等研究所 サステイナビリティ学連携研究機構長・教授)
- 閉 会

【主催】和歌山県

お問い合わせ▶ 和歌山県自然環境室 TEL.073-441-2779



# プロフィール



東京大学名誉教授

## 岩槻 邦男

1934年兵庫県生まれ  
京都大学教授、東京大学教授、兵庫県立人と自然の博物館館長、国際植物園連合会長などを歴任。日本学士院エジンバラ公賞、文化功労者、瑞宝重光章などで顕彰され、2016年にはコスモス国際賞を受賞した。  
伝統的な手法に加えて、分子系統的な手法も取り入れつつ、包括的かつ多面的に植物系統分類学を発展させた。また、多様性生物学による生物の統合的理解の重要性を説き、そのような理解が生物の豊かさや自然との共生を支える原理であることを明らかにした。



東京大学国際高等研究所  
サステイナビリティ学連携研究機構長・教授

## 武内 和彦

1951年和歌山県生まれ  
国際連合大学サステイナビリティ高等研究所上級客員教授、食料・農業・農村政策審議会会長代理、日本学術会議会員、国際学術誌Sustainability Science誌(Springer)編集長などを兼務。国際連合大学上級副学長、国際連合事務次長補、中央環境審議会会長などを歴任  
専門は、緑地環境学、地域生態学、サステイナビリティ学。人と自然の望ましい関係の再構築を目指して研究教育活動を展開している。また、アジア・アフリカを中心に、伝統的な土地利用の再構築に向けた世界の多様な取り組みとの連携を目指すSATOYAMAイニシアティブにも深く関与している。



和歌山大学 観光学部 教授

## 大浦 由美

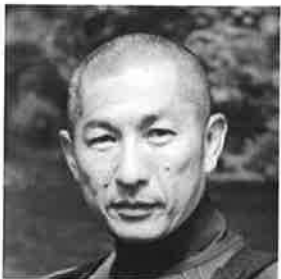
1968年東京都生まれ  
信州大学大学院農学研究科(林学専攻)修士(農学)  
専門は森林経済学、森林政策学で、近年は「交流で育む豊かな森・里・人の暮らし」をテーマに研究活動を行っている。2010年頃から和歌山県有田郡右田川町沼地区において学生とともに棚田保全活動を開始。現在、観光学部の地域連携担当として、大学生による地域活動支援のあり方について日々模索している。



和歌山県自然回復を試みる会ゼネラル・マネージャー

## 有本 智

1965年和歌山県生まれ  
海南市わんぱく公園長、日本野鳥の会和歌山県支部幹事、和歌山県環境学習アドバイザー  
1998年より地元有志と共に海南市孟子不動谷の動植物調査及び自然保護活動を開始。子どもたちの環境学習、自然観察活動の講師を務めるかわら、和歌山県北部を中心に数か所の調査地点を設定し、鳥類を中心とした調査活動を行っている。所属法人は、平成2009年に、活動が和歌山県ネス協会の連盟よりプロジェクト未来遺産の登録を受けるなど、その活動は高い評価を得ている。



ネイチャー・フォトグラファー

## 内山 りゅう

1962年東京都生まれ  
東海大学海洋学部水産学科を卒業後、写真家桜井淳史氏に師事。“水”に関わる生き物とその環境の撮影をライフワークとしている。特に淡水にこだわり、図鑑や写真集などを精力的に発表する。水や自然、生き物に関するテレビ番組の企画・出演も多く、講演活動も行っている。1999年、住まいを和歌山県白浜町に移し、“清らかな水”を取り巻く水環境にレンズを向け、創作活動を続けている。平成22年度には和歌山県文化奨励賞を受賞した。



## 和歌山県立向陽中学校 理科部

理科部は、春のフィールドワークで訪れる孟子不動谷に興味を持った部員の呼びかけで、2005年から特定非営利活動法人自然回復を試みる会ゼネラル・マネージャーと共に、里山の自然豊かな孟子不動谷で希少鳥類や水田の生き物などを対象にした生物多様性のモニタリング調査を行っている。

### 『シンポジウム』申込書

右記申込フォーム、  
またはFAX、メールにて  
お申込みください。

※FAXの方は、下記申込書に必要事項を記載の上、送信ください。

### 申込フォーム 二次元コードからもアクセスできます▶▶

<http://www.sizen.wbs.co.jp/>

FAX 073-428-0960

メール [sizen@wbs.co.jp](mailto:sizen@wbs.co.jp)



ふりがな 氏名：	年齢：	歳	TEL：
住所：(〒 - )	E-mail：		

※手話通訳・PC要約筆記をご希望される方は次のいずれかに○をしてください。 手話通訳 ・ PC要約筆記

「教えて! 岩槻先生」のコーナーで質問を希望される方は下記にご記入ください。 ※質問件数が多い場合はお受けできない場合があります。

学校名： 中学校・高等学校 学年：1・2・3年生

●質問内容